

# 最大限の電化

## 家庭部門 業務部門

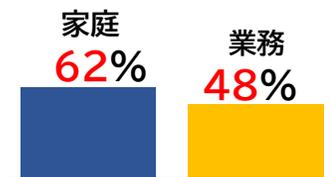
- 家庭部門のオール電化や、業務部門の空調・給湯・厨房設備の電化を推進するとともに電気料金メニューの充実を図るなど、2050年における電化率100%の実現に貢献します。

〔家庭部門〕 オール電化を基本に、IoTやAIなどの活用により、「安心・快適・経済的で地球環境にやさしいライフスタイル」を提案

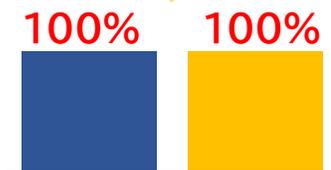
〔業務部門〕 設備の運用状況やエネルギーの使用状況に基づき、エネルギー効率が高いヒートポンプシステムを提案

### 電化率の向上

<九州の電化率\*>  
(現状)

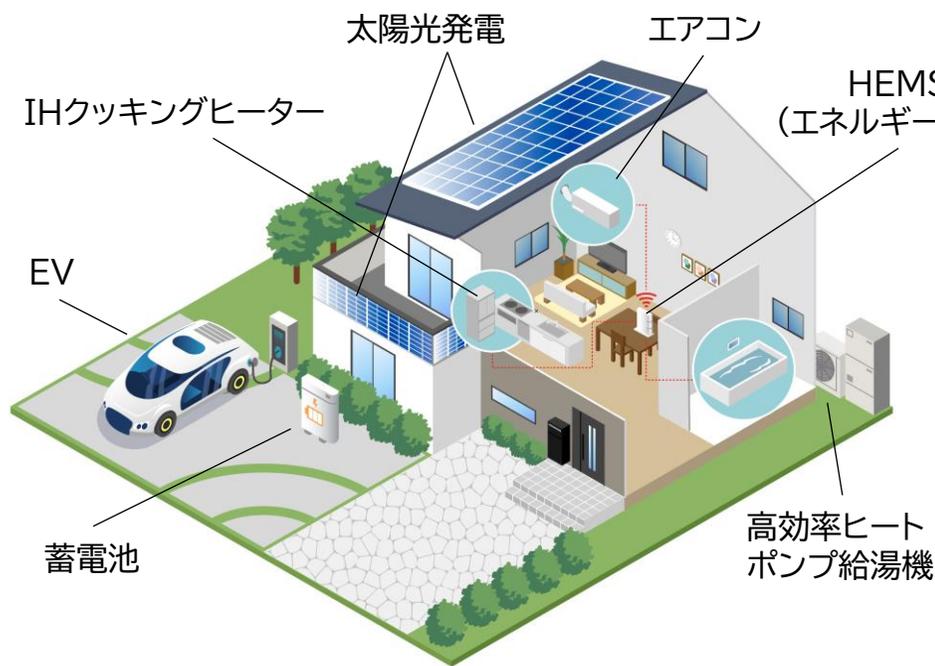


2021年

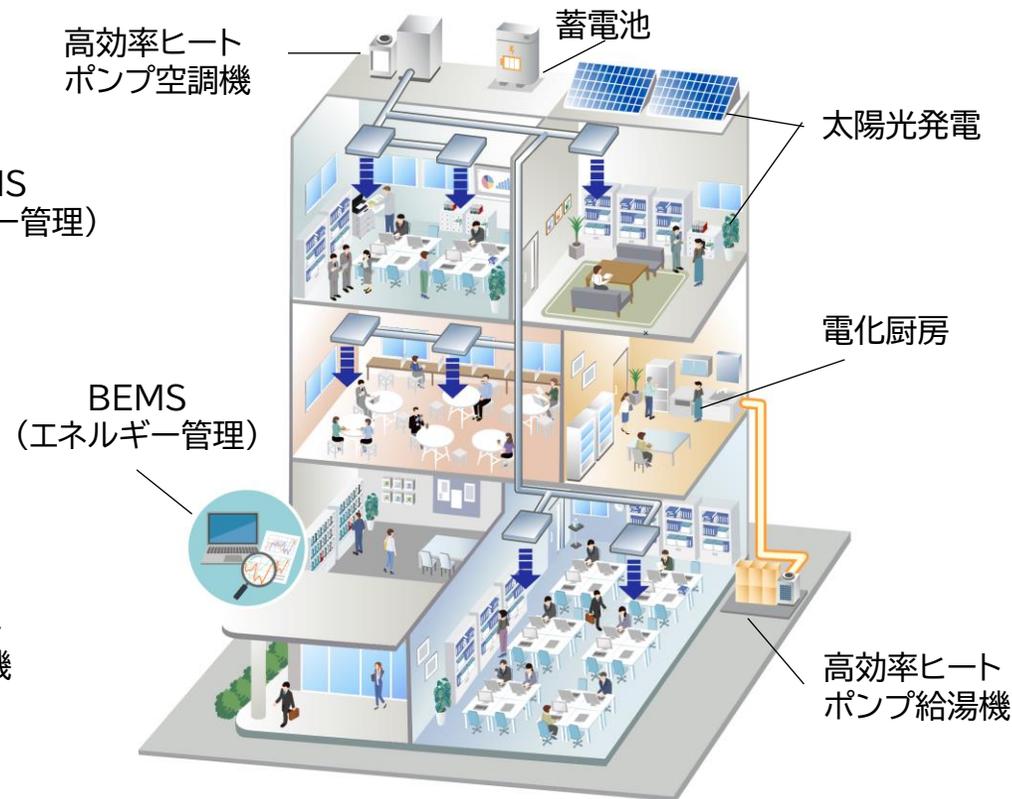


2050年

### 2050年のオール電化のイメージ



〔家庭部門〕



〔業務部門〕

※ 九州の電化率は、国の統計情報をもとに当社にて試算

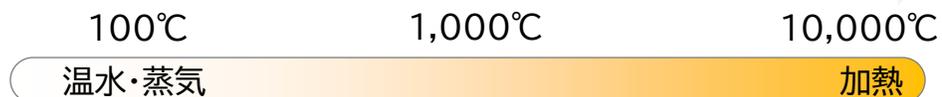
# 最大限の電化

## 産業部門 運輸部門

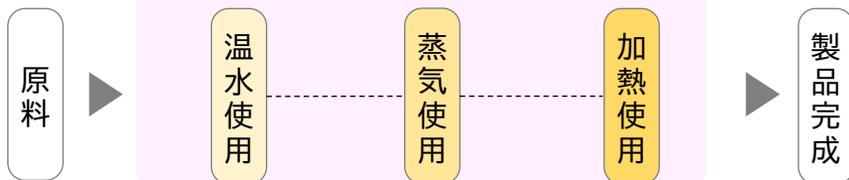
- 産業部門では、ヒートポンプなど、熱源転換機器の技術研究を行うとともに、生産工程における幅広い温度帯（温水、蒸気、加熱など）の熱需要に対する電化に挑戦します。
- お客さまとともに現地調査・検討を行い、エネルギーの利用効率向上に向けた省エネ提案を推進します。
- 高温熱需要に対する水素供給などについても、事業の可能性を検討します。
- 運輸部門では、EVの普及促進に向け、EVシェアリングサービスや充電インフラの拡大、EVを活用したエネルギーマネジメントなど、事業やサービスを提供していきます。

### 生産工程の電化推進(産業部門)

幅広い温度帯の熱需要に対する電化に挑戦



#### 生産工程



(ボイラー)



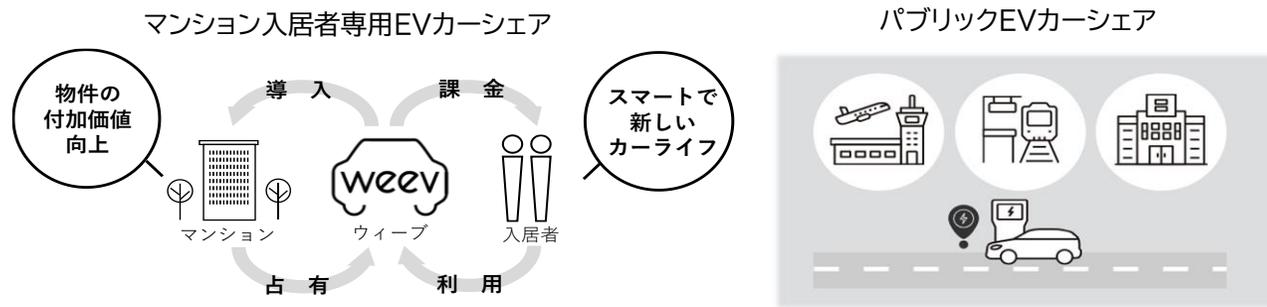
(産業用HP・電気加熱機器)



電化

### EV普及促進(運輸部門)

#### <EVシェアリングサービス(weev)>



#### <EV充電環境提供サービス(PRIEV)>

